



まずは、題材のねらいと評価規準を設定しましょう

- ねらい**
- 自分の感覚や行為を通して、形や色の組合せとそこから生まれる構成の美しさや色の鮮やかさを理解する。(知識及び技能)
  - 用具の特徴を生かして表現し、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫し、創造的に表す。(知識及び技能)
  - 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、伝え合いたいことから表したいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考える。(思考力、判断力、表現力等)
  - 自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深める。(思考力、判断力、表現力等)
  - 主体的に表現する活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の感覚や行為を通して、形や色の組合せとそこから生まれる構成の美しさや色の鮮やかさを理解している。〔共通事項〕(1)ア</li> <li>用具の特徴を生かして表現し、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫し、創造的に表している。「A表現」(2)イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したこと、伝え合いたいことを見付け、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどを考えながら、どのように主題を表すかについて考えている。「A表現」(1)イ、〔共通事項〕(1)イ</li> <li>自分たちの作品の造形的なよさや美しさ、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。「B鑑賞」(1)ア、〔共通事項〕(1)イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具を使ってつくりだす喜びを味わい主体的に表現する学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>

つぎに、ゴールを見据えて題材を構想しましょう

題材の指導と評価の計画

(●…指導に生かす評価 ○…記録に残す評価)

時間	主な学習活動など	知	思	態
1	ローラーを使ってどのような表現ができるのか、試しながら自分なりの表し方を見付ける。また、自分や友達の作品を見て、気に入った表現を見付ける。	●		●
2	ローラーを使ってできた形や色から想像を広げ、表したいことを考え、表現する。	○	○発	
3	友達の作品を見てよさや工夫を見付ける。また、形や色からどんな感じがするか考えを伝え合う。		○鑑	○

※ 発…発想や構想 鑑…鑑賞

題材の見通し

ローラーの種類や数、用紙を十分に準備することで、ローラーを使ってできる表現をじっくり探れるようにします。また、適宜友達と作品を鑑賞し合い、自らの作品を見つめ直す時間を設け、新たな視点で試行錯誤しながら楽しく表現活動をする場面を設定します。このことは、想像を広げ、より豊かに形や色などに関わることにつながると考えます。



ICTの活用

絵の具を用いた製作では、一度描いたものは消せません。そこで、製作過程で「いいな」と思った画面ができたときに写真で記録することで、製作過程を振り返ることができるようにします。最終的にできた作品が自分の思いと異なっても、自分の思いどおりに表現できていた画面に戻り、「完成作品」とすることができるので、思い切った表現をすることが可能になります。

**本時のねらい** 自分のイメージをもちながら、表現するとともに、自分たちの作品を鑑賞し、よさや表し方の工夫について考えることができる。

この時間は、「〇〇な感じ」をキーワードに、自分の表したい感じを、ローラーを使って表現していきます。そして、色を重ねるごとに変化する作品を写真撮影し、製作の過程を記録します。鑑賞活動では、最終的にできた作品とともに画像を参照しながら個人の振り返りをします。また、Jamboard を活用し、友達からの意見や感想を共有することで、自分の作品の新たな価値に気付くなど見方や感じ方を深めていきます。

**学習活動 2 / 3**

1 前時を振り返り、本時のめあてと学習内容を確認する。

ローラーの技を工夫して、おもしろい「〇〇な感じ」を表現しよう。

- 前時に試した表現活動を振り返り、自分なりの表現方法を考えることで本時のめあてにつなげる。

2 「〇〇な感じ」をキーワードに自分が表現したいイメージをもつ。

3 作品を製作する。

4 作品と写真から、自分が表現したいイメージに近付けたか振り返る。



**本時の見どころはココ!**

- ローラーを使ってできたお気に入りの表現が、どのようにしてできたのかについて、Jamboard にまとめた資料を基に、前時を振り返ります。



- 形や色の感じを考え、ローラーを重ねていきます。画面ができるごとに写真を撮り、その時に考えたことや工夫したことを記録することにより、あとで製作の過程に着目できるようにします。



ローラーを2本使って虹のグラデーションをつくったよ。次は、もっと光の感じを出してみたいな。

**学習活動 3 / 3**

1 本時のめあてと学習内容を確認する。

「形」や「色」からどんなおもしろい感じがするか味わおう。

2 友達の作品を見てよさや工夫を見付ける。

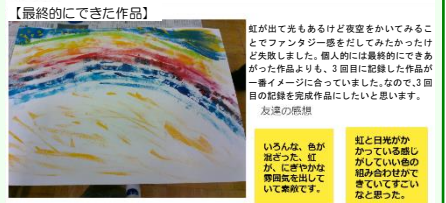
- 形や色からどんな感じがするか考えを伝え合うとともに、付箋機能に作品の感想を入力し、作者に伝える。

3 前時の振り返りと友達の感想を基に、再度自分の作品を振り返る。

- グループでお互いの作品を鑑賞し、完成作品と製作過程の写真を基に、形や色に着目して作品のよさや感じたことを伝え合えるようにします。



- 鑑賞後に、自分の作品に込めた思いと友達からの感想を Jamboard にまとめます。このことにより、自分の作品の新たな魅力に気付くことができます。



**児童の振り返り**

自分が見付けた技を生かして、きれいな虹が描けたので、夜空に浮かぶ虹にしてファンタジー感を表したいと思いました。5回ローラーを重ねましたが、ローラーを3回重ねたときの作品が、自分のイメージが一番合っていました。最終的にできた作品は、失敗だと思ったけれど、それを見た友達は、虹の色や虹と光の組合せをほめてくれたので、自分の作品のよさを知ることができました。

**最後に、題材を振り返り、児童にどんな力が身に付いたか確認しましょう**



児童が、ローラーと関わる中で見付けたこと、友達の作品から思い付いたことを記録していくことで、「次はこんなことをしたい」と主体的に表現活動に取り組むことができたと思います。また、作品が変化する様子を記録し、製作の過程を友達と共有しながら振り返ることで、自分のイメージが一番合った表現方法を自己評価したり、友達の感想から作品の魅力に気付き自分の作品を深く味わったりすることができました。これにより、児童がもっている自分なりの見方や感じ方を深めることができました。